

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第29号 平成25年9月22日

少ないチャンスに後続続かず・・・

梶原の安打で哲也が激走完封防ぐ！

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	2	0	2	0	0	3		7
G	0	0	0	1	0	0		1



9/22(日) 秋季区民大会3回戦を入船公園に向向き、シンポー情報システムと戦った。相手チームは1部なので、胸を借りつつもりで挑んだ。先発は達脇、14時52分にプレイボールとなった。しかし、彼の懸念であるボール先行が今日も顔を出した。先頭打者をストレートの四球で出塁させると、すぐさま二盗を決められ、早くもピンチの状態、後続は二飛で打ち取るも、次打者にも四球を与え、一死・二塁、しかし、粘りを見せるピッチングを見せ、後続を三飛に斬り、二死とした。後続には、ストレート先行で攻め、詰ませた打球はショートへ、これが間髪を容れず一死・三塁で打席に入った打者が最近振れていないだけに、ベースランナー哲也は一挙ホームインし1点、更に打者走者は二塁まで進塁した。続く泉の三塁ゴロにボールを合わせ損ねたサードがトンネルし、一死・三塁とした。しかし、ここで入った打者への策はなく、あっさり二死、続く打者に期待が掛かったが、四球で出塁で、二死満塁となった。が、後続はセオリーとおり初球から打ちに行ったが、投飛とこの日最大のチャンスを逸した。6回には、4本の長短打で3点を失点し、今日のゲームは敗戦となった。

今日のゲームを振り返ってみると、初回の攻防の運・不運、そして、序盤の投手の立ち上がり、更に4回の攻撃であろう。特に4回の攻撃で一死・三塁で打席に入った打者が最近振れていないだけに、ここは、スクイズで得点というのも、チームを活気づける策として、良かったのでは無いか？と感じる、この場面で1点追加出来たなら、4：2となり、1チャンスでゲームはどうなるか分からない。そう考えると、非常に惜しくも感じる内容である。しかし、もし、失敗したら、と考えると、その策を出せなかったとしたならば、打者はそういう場面にきっちり出来るように練習するしか無いだろう。今年の春にも策なし、とチーム内でも出た話、また引きずるのか？と感じてしまうのは私だけだろうか・・・